

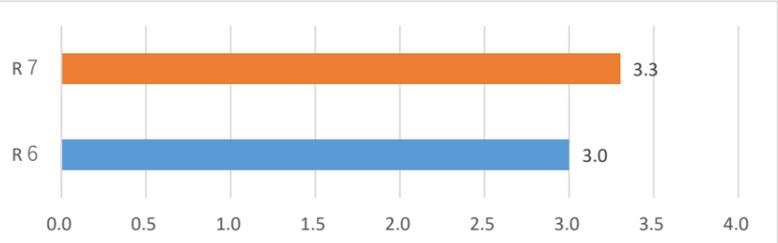
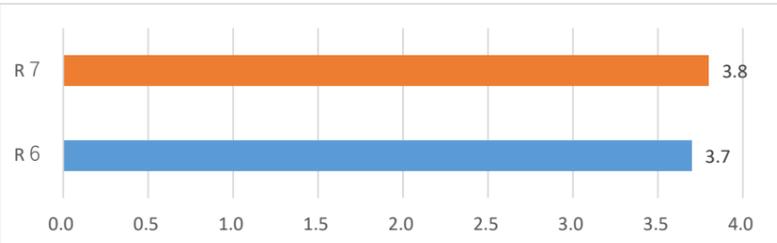
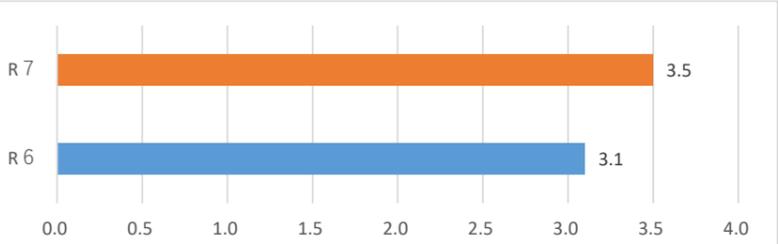
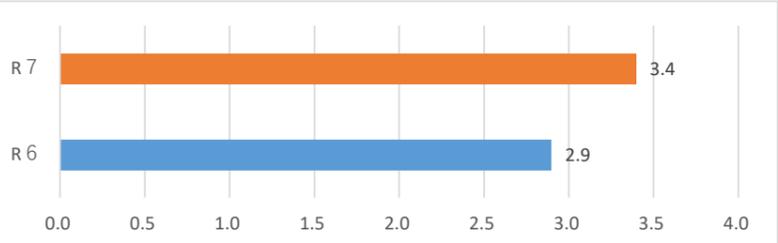
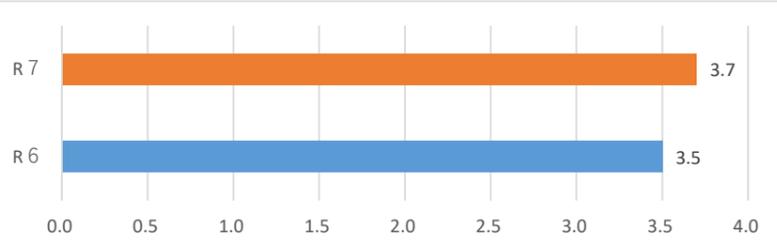
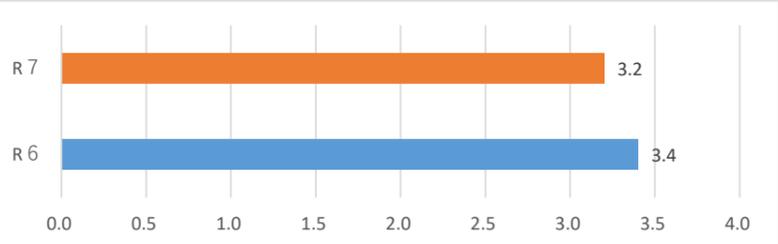
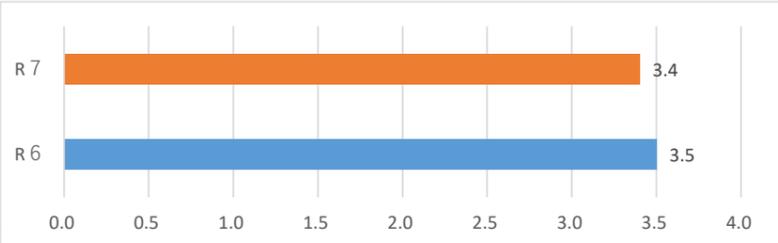
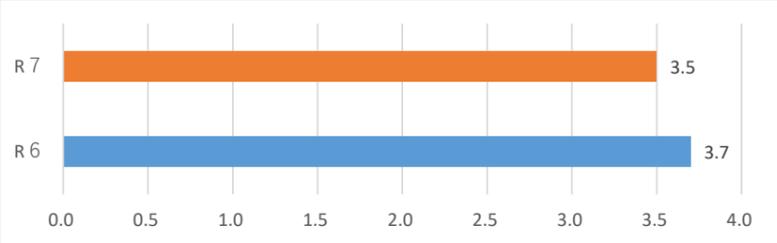
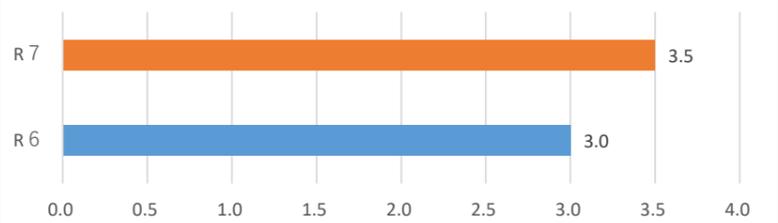
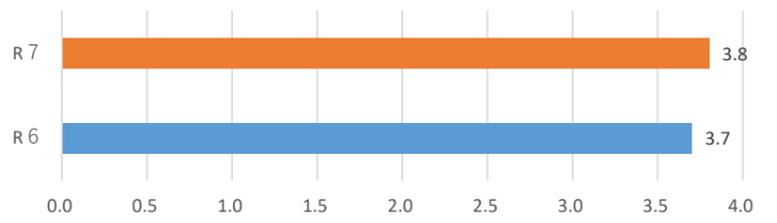
# 学校評価(教職員による自己評価と保護者の評価)の集計

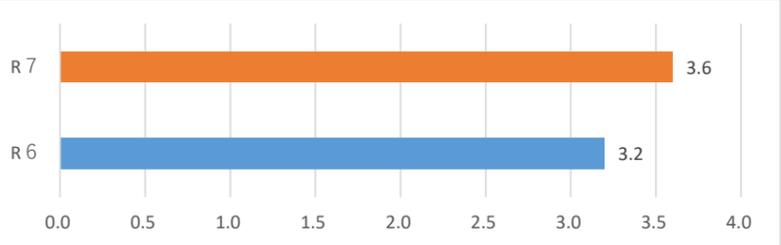
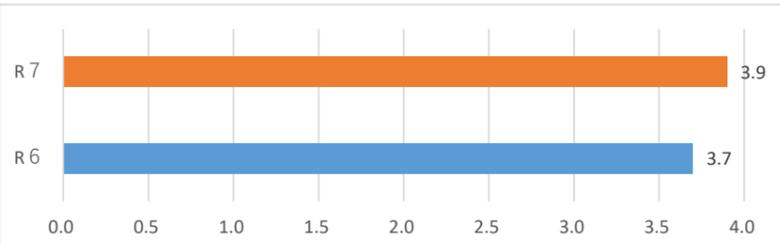
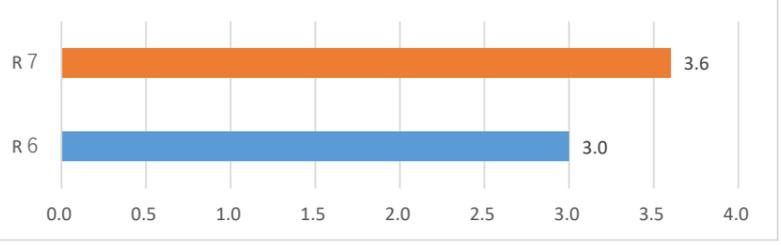
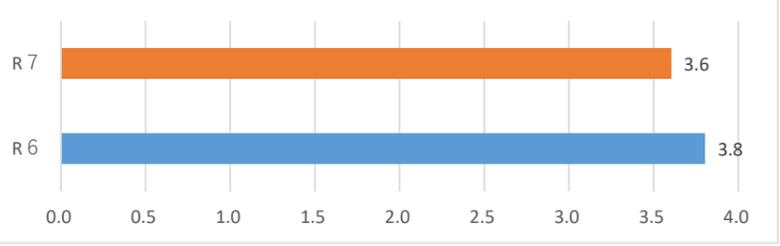
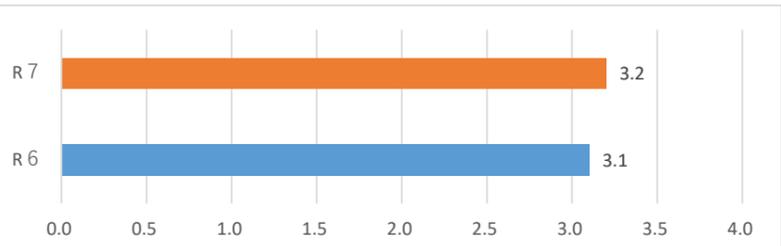
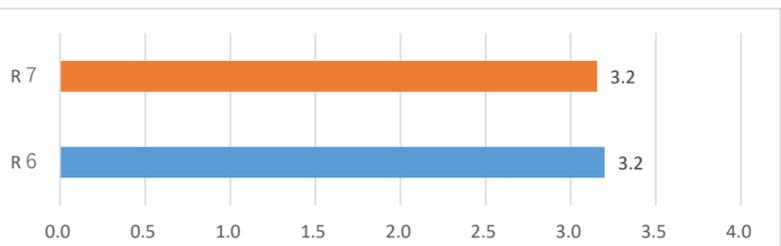
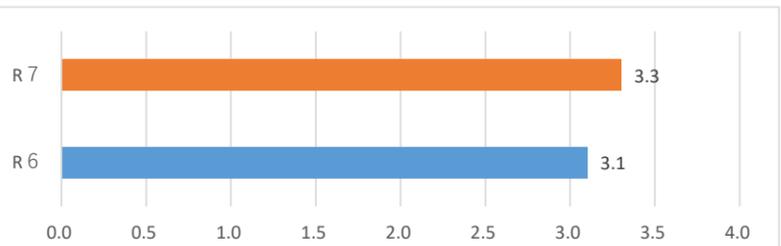
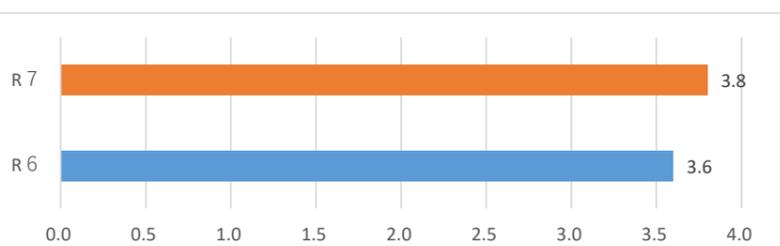
評価基準 4あてはまる 3 ややあてはまる 2 あんまりあてはまらない 1あてはまらない で教職員(14名)保護者(28名)で評価しました。

結果は、評価基準を得点化して平均値で表しています。最高値は4点です。

## 令和7年度米沢養護学校長井校

		成果と課題	
①	<p>教職員： 児童を真ん中に置き、児童の人格と主体性を尊重した教育を推進している。</p>	<p>保護者： 長井校は、子どもを真ん中に置いた教育を推進している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童に対し、丁寧な言葉遣いや態度で関わったり、児童の思いを聞き取ったり、読み取ったりしながら指導・支援を行うことができた。</li> <li>・今後も児童自身が選択、判断、表現する場面を大切に、児童の思いに寄り添った指導支援に努める。</li> </ul>
②	<p>教職員： 一人一人の実態を的確に把握し、個別の教育支援計画、個別の指導計画に基づいた指導・支援の充実を図り、適切な評価の下、PDCAサイクルを積極的に回して更なる指導・支援の改善に取り組んでいる。</p>	<p>保護者： 個別の教育支援計画をもとに、一人一人に応じた支援が行われている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おおむね達成はしているが、昨年度より評価が下がっている。原因としては計画的、組織的にPDCAサイクルを実施できなかったためであると考え。次年度は年間計画を作成し、計画的に振り返りを設定し、指導・支援の改善に努めていく。</li> <li>・ケース会の進め方について、基本となる実施方法を検討、提案、試行し、より一人一人に応じた目標設定、指導内容となるよう取り組む。</li> </ul>
③	<p>教職員： 教職員が各々の得意分野や専門性を生かし、協働して児童に必要な資質・能力を育成している。</p>	<p>保護者： 学級担任を中心として、組織的に学級経営がなされている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複学年での学習においては、様々な視点から授業改善のアイデアを出し合い進めることができた。また、各クラスの学習や指導においても、他の教員と相談しながら進めることができた。</li> <li>・今後とも学部主任を中心として、報告、連絡、相談を密にしながらチーム長井校の職員全員で児童の心身の育成に努める。</li> <li>・ICTの活用に関しても、児童が活用できるよう、情報やスキルを共有して進めていく。</li> </ul>
④	<p>教職員： 学びの連続性を意識した教育課程の編成と、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を行っている。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度学校研究の主題「子どもの主体的な姿を引き出すための授業づくり」として取り組んだことで、児童が自ら考え、判断し、行動する授業づくりを目指し取り組むことができた。</li> <li>・今後は「対話的」な姿へも視点を向け児童同士の関わりや地域のものや人との関わり場面を設け、児童がより物事を体験的、多面的に理解できるように取り組んでいく。</li> </ul>
⑤	<p>教職員： 「社会に開かれた教育課程」を追求し、保護者・地域・関係機関等との連携を密にして効果的な教育活動と信頼される学校づくりを推進している。</p>	<p>保護者： 児童や保護者、地域、関係機関から信頼される学校づくりをしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度より実施された、米養長井校、西置賜校、やまなみ分教室での3校合同行事「米養にしおきたまつり」では、保護者と協力し、遊び場の準備、運営を行うことができた。来年度については保護者の負担とならないよう教職員とPTA役員で役割分担をしたり、計画的に準備を進めたりしていく。</li> <li>・公金管理に関して、マニュアルの徹底、新たなインターネットバンキングによる手続き等に取り組み、適正に処理する。</li> <li>・今後は、より地域の人・もの・場所とつながりのある学びを実施し、地域の中で児童が体験的に学ぶことができるようにしたり、特別支援教育の理解推進に努めたりしていく。</li> </ul>

⑥	<p>教職員： 自立と社会参加に向けたキャリア教育と進路指導を推進している。</p> 	<p>保護者： 将来の社会参加と自立に向けて、お子さんに合った支援がなされている。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は西置賜校の進路講演会に参加することができ、保護者が進路への見通しを持つ機会となった。今後とも西置賜校とも連携しながら、児童への支援や保護者、教員の理解向上に努めていく。</li> <li>・今後も社会参加、自立のために小学部段階で必要な力を個別の教育支援計画を中心に目標を設定し、その達成のために日々の指導・支援に取り組んでいく。</li> </ul>
⑦	<p>教職員： ICTの効果的な活用促進及びAIの効果的な活用を探り、児童の主体的な学びの充実や学習上・生活上の困難さを補うとともに校務の効率化を図っている。</p> 		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師がICT及びAIを使い効果的に学習に取り入れたり、校務の効率化を進めたりすることができた。</li> <li>・今後は、さらに児童が教具やコミュニケーションツールとしてICTを使用したり、登校が難しい児童の学習参加の支援として行っていけるよう、指導を行ったり環境を整えたりしていく。</li> </ul>
⑧	<p>教職員： 豊田小等との連携と交流及び共同学習の充実を図っている。</p> 	<p>保護者： 豊田小学校や居住地校との交流及び共同学習が充実するよう取り組んでいる。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊田小学校との運動会では、より2校共同の運動会となるよう連携をしたり、児童への支援を考えたりし、両校にとって学びの多い運動会とすることができた。学習発表会においても1年生と一緒に舞台発表を行い、一緒に「おおきなかぶ」の世界を楽しむことができた。</li> <li>・居住地校交流では、事前の教員間の打ち合わせを密にし、2回目以降は教師の引率がなくとも児童が居住地校の友だちと活動することができた。</li> <li>・米養長井校、西置賜校、やまなみ分教室の3校合同行事「米養にしおきたままつり」では、事前に発表を見合い交流したり、当日同じ場で一緒に活動したりすることができた。来年度も今年度の反省を生かし、より3校の共同学習となるよう計画実施していく。</li> </ul>
⑨	<p>教職員： 西置賜地域における特別支援教育のセンター的機能が充実を図っている。</p> 		<ul style="list-style-type: none"> <li>・長井市、飯豊町、県教委と連携し、学びの支援委員会（長井3回、飯豊町2回）、巡回指導（飯豊町8回、長井市1回）、にこにこ相談（2回）の担当として、指導助言等を行った。また、2回研修講師として各校に出向くなどし、特別支援教育について知ってもらうことができた。</li> <li>・今後とも地域のニーズに応え、力となれるよう関係機関と連携し取り組んでいく。</li> </ul>
⑩	<p>教職員： 分かる授業、できる授業づくりに取り組んでいる。</p> 	<p>保護者： お子さんは、授業の中で「分かった」「できた」を感じている。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も児童の「やりがい」「手応え」を大切に「できる状況づくり」を行う。児童が自分の「できた」がわかるように、教師が言葉かけをしたり、児童自身での振り返りの設定をしたりして、児童が「もっとやってみよう。」「違う人ともやってみよう。」などと挑戦する心を育てていく。</li> <li>・登校が難しい児童にも、登校した際に達成感を感じることができる活動や、家で意欲的に取り組むことができる課題を提供できるように、チームで検討し、保護者と連携をしながら取り組んでいく。</li> </ul>
⑪	<p>教職員： 発達段階や年齢に応じた支援をしている。</p> 	<p>保護者： お子さんは、発達段階や年齢に応じた支援を受けている。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校保健委員会において「性教育」の研修を行ったことで、発達段階や年齢に応じた指導の重要性を再認識し、支援に当たることができた。</li> <li>・今後とも個々の興味関心や得意なこと発達段階を丁寧に捉え、個別最適な学びを意識した指導・支援を行う。</li> </ul>

⑫	<p>教職員： 児童のサインや意思表示を大切にしている。</p> 	<p>保護者： 教職員はお子さんのサインや意思表示を大切にしている。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各活動において、児童が選んだりやりたいと表現したことが実現できるよう教師が支援することができた。</li> <li>・個に応じて、写真やイラストカード、身振りなどのサイン、ICT機器を使用しながら、思いを伝える手段を支援することができた。</li> <li>・今後も個に応じた表出手段への支援と児童が「伝わる」「伝えてよかった」と思えるよう児童との関わりをしていく。</li> </ul>
⑬	<p>教職員： 連絡帳や「えがお(通知表)」等で学校での児童の成長した姿を保護者にわかりやすく伝えることができた。</p> 	<p>保護者： 教職員は連絡帳や「えがお(通知表)」等にて、学校でのお子さんの取り組みを分かりやすく伝えている。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の様子や学習の成果等を保護者にわかりやすく伝えることができた。</li> <li>・今後も、観点別評価においてどのような資質・能力が育成されたのかを丁寧に伝えていく。</li> </ul>
⑭	<p>教職員： 学校と医療や福祉関係機関との連携を十分に図っている。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校医、保護者と連携を図り、児童の病状、アレルギー等に応じた緊急時の対応マニュアルを整備し、年度初めや必要な時期に全職員で対応について共有を図ることができた。</li> <li>・福祉関係機関とは、保育所等訪問支援(月2回)において児童の様子を共有したり、支援方法について共に考えたりすることができた。また、必要に応じて情報共有をしたり、ケース会を行い支援について協議をしたりした。今後も、各関係機関と連携しながら、支援の充実に努めていく。</li> </ul>	
⑮	<p>教職員： 学部経営・学校経営に積極的に参画している。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間で協働し学部経営や学校経営に取り組むことができた。</li> <li>・次年度は学校目標達成に向け学部経営の重点を具体的に考え、取り組む内容を明確にしていく。その内容について定期的に振り返り改善に努めていく。</li> </ul>	
⑯	<p>教職員： 専門性の向上を目指して、研究・研修等に取り組んでいる。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校外における授業研究会や研修会、長井校にとって必要な研修に積極的に参加し、校内での研修報告会等で情報共有を図ることができた。</li> <li>・今後も参加、オンライン、オンデマンド等の方法で研修に参加し、個の専門性の向上に努めるとともに、校内研究や日々の授業改善の話し合い等の中で学んだ知識を取り入れ実践していく。</li> </ul>	
⑰	<p>保護者： お子さんは、学校に登校するのを楽しみにしている。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の様子を画像等でより分かりやすく伝えることができるようR8年度より写真データの共有ができるよう準備を進める。また、HPの活用方法を検討し、試行し、学校での様子がより伝わるよう取り組んでいく。</li> </ul>	
保護者からの意見(記述)	<p>⑤地域や関係機関との関係性はみえてこないため不明です。先生方が頑張ってくださいているのは承知ですが、毎年のように教頭先生が変わっており、学校の方針も都度変更になっていくため大変な面もあります。前年度の引き継ぎがなされているのか不透明です。また今年度本校で起きた着服問題などあったため2を選択しました。</p> <p>⑦今は通常登校が難しく、登校した際は学習参加というより、本人のやりたい事をさせていただいて過ごしているため。</p> <p>⑦子供から聞くことができないため</p>		